



2019年度 事業報告書



特定非営利活動法人日本アンプティサッカー協会
Japan Amputee Football Association



住所

東京都港区芝浦 1-2-1 シーバンス N 館兼松株式会社内
大阪府大阪市天王寺区悲田院町 3-9 (西日本支部)

法人設立

2013年4月1日

ウェブサイト・お問い合わせ先

www.j-afa.jp

support@j-afa.jp

ソーシャルメディア



日本アンプティサッカー協会



@jamputees



日本アンプティサッカー協会



jamputees

I. 事業期間

2019年4月1日～2020年3月31日

II. 事業の成果

特定非営利活動法人日本アンパティサッカー協会は、広くサッカーを通じて障害の有無を超え、充実した共生社会の実現を目指す事を理念としており、この理念に沿って2019年度では継続して強化育成、周知普及、環境教育の主要3事業を展開すると共に、組織基盤の強化を図りました。

前年度参加したメキシコワールドカップにて痛感した世界の強豪国とのフィジカルや戦術面でのレベル差を埋めるべく、東日本リーグ開催による公式戦の充実、又強化委員会が主体となり若手年代を対象としたユースキャンプ・ミドルユースキャンプ合宿を行いました。アンパティサッカーの競技レベル向上だけに留まらず、周知普及させていく為に当協会主催の大会にて体験会の実施、そして2019年10月には香川県高松市にて四国地域では初めてアンパティサッカーの交流試合を実施しました。

2019年度の事業の成果

| 強化育成事業 | 周知普及事業 | 環境教育事業 | 組織基盤強化 |
|---|---|--|--|
| <p>下記各種大会及び強化合宿を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 東日本リーグ戦■ レオピン杯■ 日本選手権■ ユースキャンプ■ ミドルユースキャンプ■ 西日本交流戦 | <ul style="list-style-type: none">■ 一般社団法人日本障がい者サッカー連盟(JIFF)の要請に応え、JIFF体験会や講演会等、各種事業に参加し、切断障がい者に対する理解を推進致しました。■ テレビでの試合の放映やアンパティサッカーの醍醐味のご紹介、そしてソーシャルメディアを使っての活動内容の情報共有を致しました。 | <ul style="list-style-type: none">■ 主として関東地方の小中学校、インターナショナルスクール、大学からのアンパティサッカーに関する依頼に応え、講演や体験会等を展開致しました。■ サッカーは誰でも楽しめる、という認識を若い健常者の体験を通して推進致しました。 | <ul style="list-style-type: none">■ 強化委員会では、チーム育成、運用強化、競技普及、指導者育成等を目的とする様々な活動を実施致しました。 |



Ⅲ. 事業の実施状況

1. 強化育成事業

■ 第六回レオピン杯 Copa Amputee

前年度に引き続き、大阪鶴見緑地球技場で開催し、FC アウボラーダと関西セッチエストレーラスの決勝戦では、FC アウボラーダが1対0で勝利し3年連続4度目の優勝を果たしました。

■ ユースキャンプ・ミドルユースキャンプ

今後の多面的な活躍が期待される育成年代のユースプレイヤー、著しい競技力の向上が期待されるミドルユースプレイヤーを招集し、インストラクター指導を受ける機会を創出し、次世代のアンプティサッカー界を牽引していく人材の育成に努めました。

■ 西日本アンプティサッカー交流戦

昨年度より東日本地区でリーグ戦を開始しましたが、翌年度から西日本地域でもリーグ戦を開催する事を視野に入れて、香川県サッカー協会の多大なる支援を頂き、香川県高松市にて四国で初めて当協会所属3チームによる交流親善試合を実施致しました。

■ 第9回日本アンプティサッカー選手権

かわさき市民祭り開催期間中に大会を行う事となり、例年より多くの皆様に観戦頂く事が出来ました。決勝は、九州バイラオールと関西セッチによる戦いとなり、1対1で決着がつかずPK戦の末九州バイラオールが勝利し、3年連続5度目の優勝を果たしました。

■ 東日本アンプティサッカーリーグ戦

2019年1月より東日本地区で4チームを対象としたリーグ戦を開始しました。ホーム&アウェイ方式で各ホームチームが主体的に試合運営に関わり、リーグ戦を行うだけでなく観客を交えた体験試合をプログラムに加える事でアンプティサッカーの普及活動にも視野を入れて取り組みました。尚、リーグ戦の運営費はサッカーくじ「TOTO」助成金を活用しております。

| | 強化育成事業 | 日時 | 場所 |
|---|------------------------------------|--|--|
| ① | 第六回レオピン杯 Copa Amputee | 5/18/2019(土) 5/19/2019(日) | 大阪花博記念公園鶴見緑地球技場 |
| ② | 東日本アンプティサッカーリーグ 2019年度第2回（前期）大会 | 6/15/2019(土) 6/16/2019(日) 9/8/2019(日) | 時之栖富士宮グラウンド、 兼松株式会社千葉総合グラウンド |
| ③ | ユースキャンプ・ミドルユースキャンプ | 8/24/2019(土) 8/25/2019(日) | 千葉県城西国際大学グラウンド 千葉県順天堂大学グラウンド |
| ④ | 西日本アンプティサッカー交流戦 | 10/19/2019(土) 10/20/2019(日) | 香川県高松市立東部運動公園 |
| ⑤ | 第9回日本アンプティサッカー選手権大会 | 11/2/2019(土) 11/3/2019(日) | 富士通スタジアム川崎 |
| ⑥ | 東日本アンプティサッカーリーグ 2019年度第2回（後期）大会 | 1/25/2020(土) 2/16/2020(日) 2/22/2020(日) | 船橋市高瀬下水処理場上部運動広場 東海大学湘南キャンパス 港区立港南小中学校 |

2. 周知普及事業

アンプティサッカーの事業活動を積極的に Facebook、Twitter、YouTube、Instagram のソーシャルメディアで配信してきました。フォロワー数は、Facebook は約 2.3 千人、Twitter は 1.5 千人迄増加してきました。

日本障がい者サッカー連盟(JIFF)に加盟している他のサッカー団体と共同で一般向け体験会を開催、又当協会所属チームが地域社会に向けて周知普及活動を行ってきました。

パートナー企業との社会貢献活動の取り組みとして、兼松(株)の協力を頂き、第9回日本アンプティサッカー選手権への社員ボランティア派遣、東日本リーグの開催グラウンドを提供頂きました。

| | 周知普及事業 | 日時 | 場所／メディア |
|---|---|-------------------------------|-----------------|
| ① | JIFF まぜこぜスマイルサッカー in むさプラ | 5/1/2019(水) | 武蔵野の森総合スポーツプラザ |
| ② | BSテレビ番組 「武井壮のパラスポーツ真剣勝負、 アンプティサッカー」放映 | 11/1/2019(金) 12/28/2019(土) | NHK 衛星放送BS1 |
| ③ | JIFF インクルーシブ フットボールフェスタ2019年 | 12/22/2019(日) | フットサルステージ (多摩市) |
| ④ | 日本アンプティサッカー選手権 ケーブルテレビ放映 | 1/5/2020(日) 1/19/2020(日) | ケーブルテレビ品川 |

3. 環境教育事業

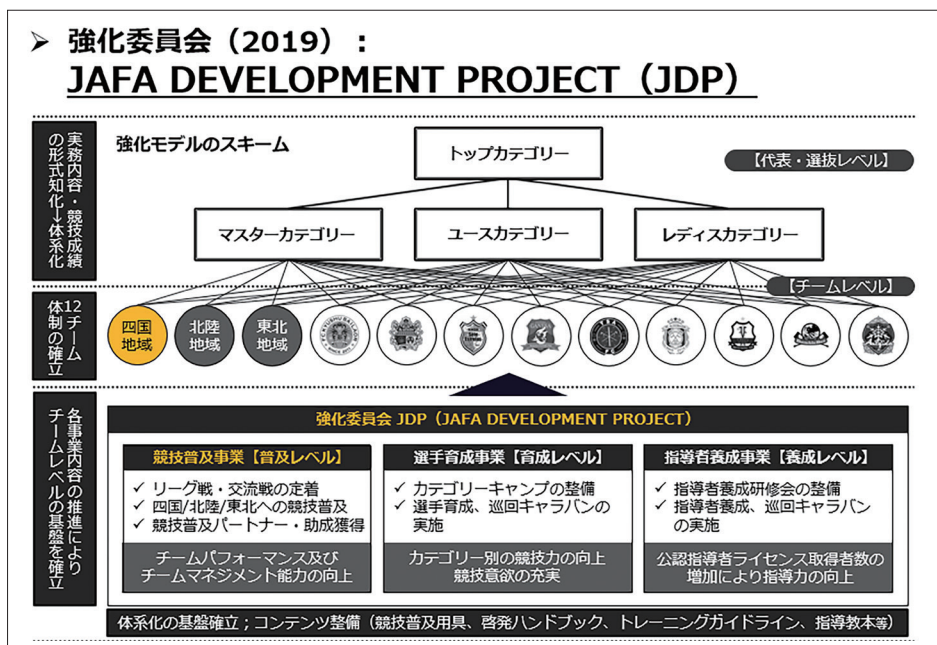
教育の現場である小中高等学校、大学に赴いて、授業の一環としてアンプティサッカー選手による講演会や学生を対象とした体験会を実施しました。障がい者と健常者が隔てなく共に同じ社会で生きていける事をテーマとして、アンプティサッカーを介して学生向けへアプローチを行いました。

| | 環境教育事業 | 日時 | 場所／メディア |
|---|-------------------------------|---|--|
| ① | J-Amputee Education | 6/15/2019(土) | 幕張インターナショナルスクール |
| ② | 各小中学校、高等学校大学での講演会 及び体験会の実施 | 6/27/2019(木) 7/9/2019(火) 8/28/2019(水) 9/26/2019(木) 10/5/2019(土) 12/9/2019(月) | 青梅市立第六中学校 八千代市立新木戸小学校 印旛市立教育委員会 江東区立亀戸中学校 川崎市立上丸子小学校 東海大学体育学部 |
| ③ | 東京2020教育プログラム助成事業 | 12/14/2019(土) 2/15/2020(土) | 港区立港南小学校 港区立港南中学校 |



4. 組織基盤強化

昨年度より日本代表チームの編成、運用強化、競技普及事業、選手育成事業、指導者養成事業の強化発展を目的として強化委員会を立ち上げましたが、その活動支援の為に新たなメンバーを追加しました。継続的な強化活動、次回 2022 年ワールドカップでの前回成績である 10 位を上回る好成績を目指します。



JIFF 主催による各地域サッカー協会及び障がい者サッカー団体との連携会議に参加し、Jリーグクラブを交えて各団体との新たな関係の構築に努め、各団体の好事例な取り組みの共有、選手獲得や周知普及に係る課題に向けた対策案等の議論を重ねました。

財務基盤については、2020 年 3 月現在 6 社との年間パートナー契約による協賛金収入、当協会主催の大会広告スポンサー収入、JIFF や TOTO からの助成金更に寄付金収入により資金調達の多様化を図りました。

各種大会の運営費や新たにリーグ戦開催による支出、継続した選手の強化育成に活用していく為、引き続き財政面での強化を図ります。

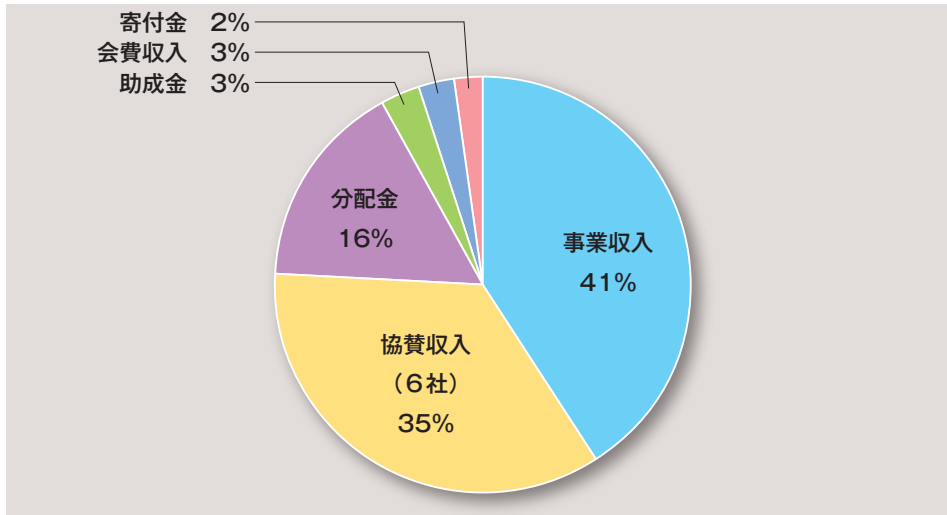
5. 理事会実施要項

| | 活動名 | 日時 | 主な議題 |
|---|---------------------------|--------------|---|
| ① | 2018年度総会兼 2019年度第1回理事会 | 5/25/2019(土) | 2018年度収支報告・2019年度予算 謝金・支援事業規定の制定 登記上住所及び定款変更の報告 国際大会開催決議 |
| ② | 2019年度第2回理事会 | 8/26/2019(水) | 日本選手権の開催日程 国際大会の開催日程 |
| ③ | 2019年度第3回理事会 | 12/1/2019(日) | 経費規定の改定 2020年ポーランド開催親善大会参加決議 2020年日本選手権スケジュール 国際大会開催スケジュール |
| ④ | 2019年度第4回理事会 | 3/7/2020(土) | 経費規定の追加改定 協会組織変更の検討 日本選手権の開催日程 |

IV. 財務報告

1. 収入

2019年度の収入は、レオピン杯や日本選手権の大会開催に伴うプログラムへの紙面広告やスタジアムでのバナー掲載に伴う事業収入が41%と最大となりました。次にパートナー6社様より当協会の理念や活動に賛同頂き、協賛収入を得ることができました。協賛収入は、全収入の35%を占め、強化事業収入の41%と合わせると収入の76%を占めます。その他の収入として当協会が加盟している日本障がい者サッカー連盟（JIFF）からの分配金や日本スポーツ振興センターからの民間助成金収入等になります。



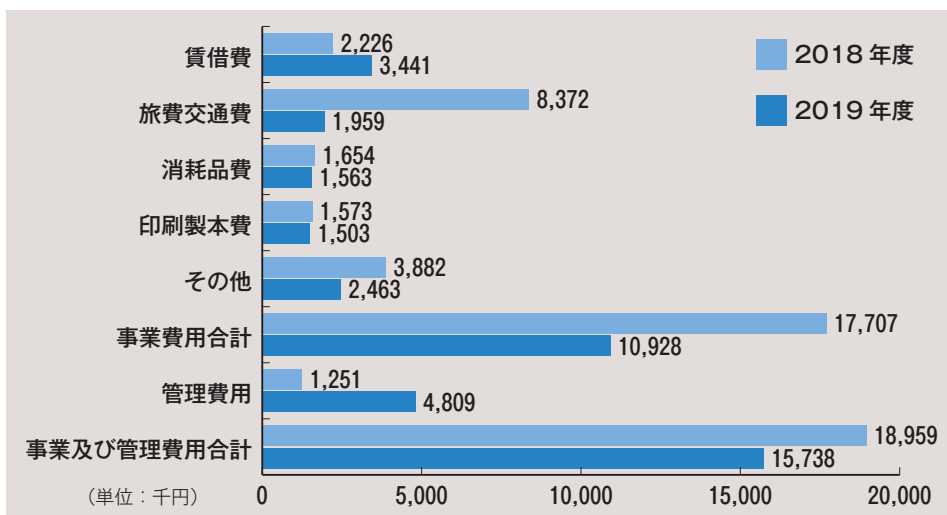
2. 支出

2019年度の支出は、事業費 10,928 千円と管理費 4,809 千円の総額 15,738 千円となりました。前年の総額 18,959 千円に対し▲ 3,221 千円（事業費▲ 6,779 千円の減少、管理費 3,558 千円の増加）の減少となりました。

事業費の主な前年からの変動について、賃借料は第9回日本アンプティサッカー選手権にて一般来場者の安全面確保の為に新たにフェンスを設置したことにより、前年に比べ約 1,200 千円の増加となりました。

旅費交通費は、前年度メキシコワールドカップ参加により、国内事前合宿やメキシコへの海外渡航費が大きく増加しましたが、当該年度では該当しなかった事が影響し、約 6,400 千円減少しました。

管理費用の主な前年からの変動要因として、アンプティサッカーの告知用動画作成、ホームページのリニューアル、各種イベント運営サポートに係る謝礼金等により増加となりました。



V. 当協会ウェブサイトのリニューアル

2019年9月に、ウェブサイトの見やすさと情報の整理にフォーカスをしてレイアウトを刷新しました。今後も継続的に事業活動をお知らせすると共に、アンプティサッカーの公式情報発信源として活用して参ります。

The image shows two screenshots of the website. The left screenshot is the homepage, featuring a header with the association's name, a main image of a player, and an 'EVENT' section with posters for '西日本アンプティサッカー交流戦2019' and '日本アンプティサッカー11選手権大会2019'. The right screenshot is the 'RULE' page, titled 'アンプティサッカーのルール', which includes illustrations of different player types and their roles, and a diagram of a 60m x 40m pitch.

基本ルール
 【人数】7人 【試合時間】25分ハーフ 【ピッチサイズ】国際基準 60m x 40m 【ゴールサイズ】5m x 2.15m (少年サッカー用ゴール)



- | | |
|---|---|
| 北海道  アシルスフィーダ北海道AFC (2013年設立) | 埼玉県  FC 1TOP (2016年設立) |
| 千葉県  AC Milan BBee千葉 (2014年設立、2020年名称変更) | 東京都  FC ALVORADA (2013年設立) |
| 神奈川県  TSA FC (2010年設立) | 静岡県  ガネーシャ静岡AFC (2015年設立) |
| 大阪府  関西Sete Estrelas (2012年設立) | 広島県  A-pfeile広島AFC (2013年設立) |
| 大分県  FC九州バイラオール (2011年設立) | |

VI. 2020 年度事業計画

例年通り、強化育成事業において当協会の主要大会であるレオピン杯（開催時期 10 月）、日本選手権（開催時期検討中）を実施すると共に、東日本リーグの継続と新たに西日本リーグ開催を視野に入れております。尚、コロナウイルス感染拡大防止措置の為に、当初予定しておりましたポーランド国際親善大会へは参加中止、また 2021 年 2 月開催予定の国際大会については現在見合わせております。

周知普及活動及び環境教育事業は、ソーシャルメディアを最大限活用して PR すると共に、パートナー企業との社会貢献活動の実施、小中学校を中心とした障がい者と健常者の共生社会実現に向けた取り組みを引き続き実施します。

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|--------|----|----|-------|-----|-----|--------|-------|------------------|
| | | | 東日本リーグ | | | レオピン杯 | | | 東日本リーグ | 日本選手権 | 東日本リーグ 西日本リーグ |

| | 事業名 | 日時 | 場所 |
|---|---------------------------------|-----------------------|--------------------------------------|
| ① | 東日本アンプティサッカーリーグ 2020年度（前期）大会 | 7月～8月(土)、(日) | フロンタウン鷺沼、J STEP 清水、 兼松株式会社都賀グラウンド |
| ② | 第七回レオピン杯 Copa Amputee | 10月17日(土) 18日(日) | J GREEN 堺 |
| ③ | 西日本アンプティサッカーリーグ 2020年度大会 | 9月19日(土) 2～3月予定(日) | 福岡県糟屋郡宇美町 |
| ④ | 第10回日本アンプティサッカー選手権大会 | 2月予定(土)、(日) | 富士通スタジアム川崎 (川崎市) |
| ⑤ | 東日本アンプティサッカーリーグ 2020年度（後期）大会 | 1月～3月予定 (土)、(日) | 高瀬下水処理場上部運動広場 (タカスポ) |

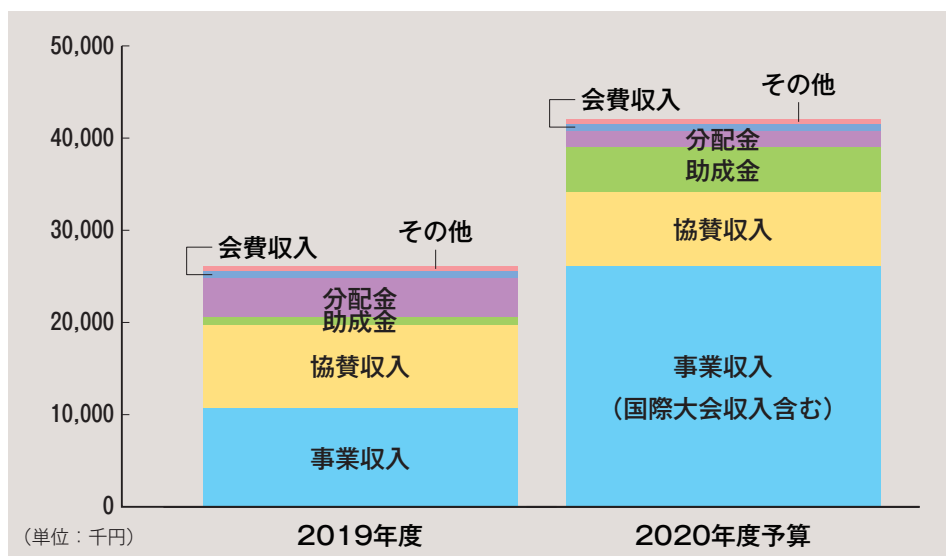


VI. 2020 年度事業計画

(1) 収入計画

2020 年度の収入計画は、国際大会による協賛収入 20,000 千円を見込んで合計 42,000 千円となる見通しです。国際大会による影響を除くと、約 22,000 千円の収入となり前年度に対して約▲ 4,000 千円の減少を計画しております。

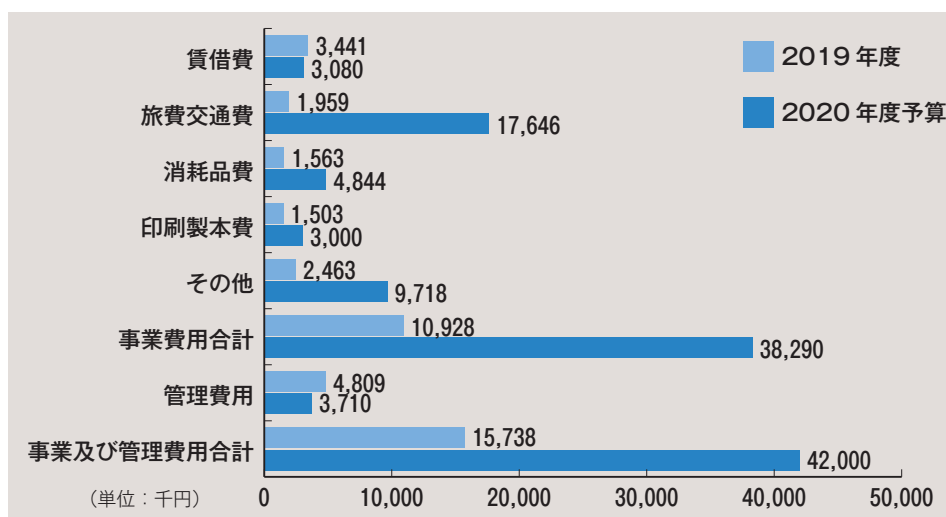
国際大会の影響を除く前年度からの主な増減要因としては、JIFF からの分配金減額▲ 2,400 千円、主に日本アンプティサッカー選手権での事業収入▲ 4,600 千円の減少、パートナー企業からの協賛収入は前年から 1 社減少による▲ 1,000 千円の減少、スポーツ振興くじによる助成金収入約 4,000 千円の増額を見込んでおります。



(2) 支出計画

2020 年度の支出計画は、国際大会による事業費 25,000 千円を見込んで総額 42,000 千円（事業費 38,290 千円、管理費 3,710 千円）となり、前年度の 15,738 千円に対し約 26,000 千円の支出増額となる計画です。国際大会による影響を除くと、前年度より約 1,300 千円の支出総額となります。

国際大会の影響を除く前年度からの事業費に関して主な増減要因は、強化宿泊実施による 1,800 千円、西日本リーグ開催による 2,300 千円、その他 300 千円の増額、前年度実施した西日本交流戦や日本選手権での安全フェンスレンタル代の減少約▲ 2,000 千円により、約 2,400 千円の支出純増となります。管理費の主な増減要因は、前年度のホームページリニューアルや告知動画に係る費用が当期に減少することにより、約▲ 1,100 千円の減少となります。



VII. 日本アンプティサッカー協会 パートナー企業一覧

現在、当協会は6社と個別のパートナーシップ契約を締結しております。また、JIFF を介して3社とパートナーシップ契約を頂いております。引き続き、ご支援を賜りますようお願い致します。

アンプティサッカー パートナー企業 2020年3月末現在



日本障がい者サッカー連盟(JIFF)パートナー企業 2020年3月末現在



第六回レオピン杯 Copa Amputee (2019年5月18日~19日)

特別協賛

協賛

オフィシャルサプライヤー



第9回日本アンプティサッカー選手権大会 (2019年11月2日~3日)

協賛

大会パートナー

JAJFA サプライヤー

堂本製菓、シュガーレディ本社、富士通エフサス、
 アール・エヌ・ゴトー、富士通ビー・エス・シー、
 和幸商事、川崎信用金庫、セレモニア、
 富士通ゼネラル、富士通マーケティング、
 東急ホテルズ、東急レクリエーション、ジスクソフト、
 日本生命保険相互、富士通エフ・アイ・ビー、
 東急コミュニティー、石川商事、織戸組、興建、
 大山組、ジェクト、PFU、タイツウ、マインドウェア、
 東京エンジニアリング、川崎運送、野村証券、
 ソニー生命保険、明治安田生命保険、
 タイムズ24、JFE東日本ジーエス
 シーイーシーカスタマサービス、アイネット、
 川崎鶴見臨港バス、富士通フロンテック、
 永谷園ホールディングス、押し花サロンシンフォニー





特定非営利活動法人日本アンプティサッカー協会
Japan Amputee Football Association